

Hack For Japan

エンジニアだからこそできる復興への一歩

Hack
For
Japan

● Hack For Japan スタッフ
小泉 勝志郎 Katsushiro Koizumi
Twitter @koi_zoom1

第58回

ヘルスケア・ハッカソン in 宮城県丸森町

今回は2016年7月16～17日に開催された「ヘルスケア・ハッカソン in 宮城県丸森町」についてレポートします。

ヘルスケア・ハッカソン in 宮城県丸森町とは

東京を中心に今回を含めて15回開催されている「ヘルスケア・ハッカソン」と、今まで仙台で2回開催されている「おなかハッカソン」がコラボしたイベントです。今回は舞台を宮城県丸森町、テーマは「地域医療」。丸森町を堪能しながら楽しく地域医療を考えるハッカソン（アイデアソン）となりました。



おなかハッカソン

サイト「おなかハッカー^{注1}」を運営している東北大学田中医師（写真1）を中心に、東北大学の若手医師の有志と東北のIT技術者有志で運営されているハッカソンで、今まで2回実施されています。

丸森町ってどんなところ？

宮城県丸森町は宮城県の最南端。福島との県境に位置しています。森に囲まれたのどかな場所です。別件で筆者が丸森に行ったとき、携帯が3キャリアとも圏外になったりしたこともありました。そののどかな丸森町が今すごく熱いのです！ 宮城県丸森町から起業家を育てる「丸森CULASTA」がオープン。そして、ドローンに力を入れるべく「丸森ドローンフィールド」も進められています。今はイノベーションそしてハックな精神が育っている町なのです。

注1 <http://abdominalhacker.jp/>

ハッカソンスタート

今回のハッカソンのテーマは地域医療。そして舞台は丸森町。そのため、「丸森町を知ってもらう」「地域医療を知ってもらう」と大きく2つのテーマに対してインプットが必要となります。丸森町を見て回った後に、地域医療についてのセミナー、そしてディスカッションとものすごく盛りだくさんな内容で全体的にスケジュールがタイト。イベント開始の挨拶、丸森町の事業紹介、そして丸森町商工課からのお話はなんと昼食を食べながら聴くスタイルでした。ここでは先ほど書いたような丸森町での取り組みが紹介されました。



まずは丸森町を見て回る！

昼食&丸森町についての説明の後は、バスで移動して丸森町見学へ。丸森町の中でもユニークな取り組みを多く行っている^{ひっば}筆甫地区でお話をうかがいます。今回は筆甫地区振興連絡協議会の吉澤武志さんから「丸森町筆甫地区の地域づくり活動について」の

◆ 写真1 田中医師



お話をいただきました(写真2)。

筆甫地区には『もののけ姫』でもおなじみのたたら製鉄に取り組んでいる人もいます。1600年代のたたら製鉄の技術を復活させていて、隠れキリシタンもこの技術のおかげで生き延びられたという逸話も。そして、地域づくりの中のメンタルヘルス向上として「生きがいづくり」をあげて取り組んでいるそうです。お話をうかがった筆甫まちづくりセンターへは「生きがいづくり」として90歳のおばあさんがWiiのボウリングを楽しむ姿が見られるんだとか。

また、丸森町ではドローンの推進をしていることもあり、そこに大きくかわかり、かつ今回のスタッフでもある高野建設さんによるドローンのデモフライトも行われました。

丸森では町をあげて地域を盛り上げ、そして新しいことにチャレンジしている風土が伝わる町めぐりでした。

▶ 地域医療について

会場を宿泊場所でもある「あぶくま荘」に移して、地域医療についてのセッションです。ここでは丸森病院院長の大友正隆さんと弁護士の落合孝文さんから話をいただきました。

大友院長の話は「丸森町の医療を考えてみましょう」(写真3)。少子高齢、過疎化が急速に進む丸森町の実情や、丸森病院における地域医療体制について紹介。「丸森は日本全体と比べて高齢化が15～20年進んでいる!」という衝撃的な発言も。こういっ

た点を踏まえて生活者の視点から、在宅介護の支援など、“病院完結型医療”から“地域完結型医療”へ移行し、地域包括ケアを推進していくと話されていました。「病院に入っただけで病気と闘う力が湧いてくる。完治が難しい病気でも、それとともに生きていこうという力が湧いてくる。人生の終末であれ良い人生だったと振り返ることができるような病院にしたい」という熱いメッセージをいただきました。

弁護士の落合さんの話は「遠隔診療について～法的な観点を中心に～」。

現在の医師法では「診療せずに治療してはいけない」となっているため、遠隔医療を行ううえで制約が出てくるそうです。そういった注意点を話いただきました。

▶ アイデア出しの心得

地域医療のアイデアを出す際の心得についてスタッフから話がありました。

日本うんこ学会会長でもある高知再生医療機構石井医師からはこれまでチャレンジした医療系アプリのお話、そして遠隔診療に向いている疾患とそうではない疾患の話をいただきました。医療的難易度が高いもの、ユーザ対応の難易度が高いものは遠隔診療には向かない。そしてサービスとして時間的・心理的通院負担を減らせるものが向いているというお話でした。

株式会社エクストーン木野瀬氏からは「ハッカソンあるある」。ハッカソンでよく見かけるダメなアイデアについて。「まずユーザを集めます→ヘルスケアサービスを利用するユーザを集めるのは大変」

◆ 写真2 吉澤氏



◆ 写真3 丸森病院 大友院長



Hack For Japan

エンジニアだからこそできる復興への一歩

「ビッグデータでごによごによ→どんなデータをどう集めるんですか?」というように、ありがちなケースを話し、会場は爆笑の渦に包まれていました。



アイデアソン!

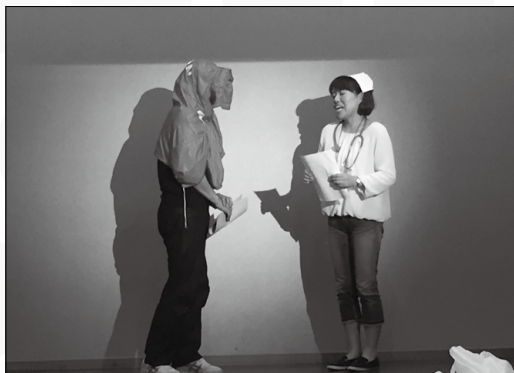
アイデアワークは各自がアイデアを作成して1分間のピッチを行い、グループメンバーを集めるスタイル。間に花火大会なんかも挟みながら、なんと夜22時から中間発表です。



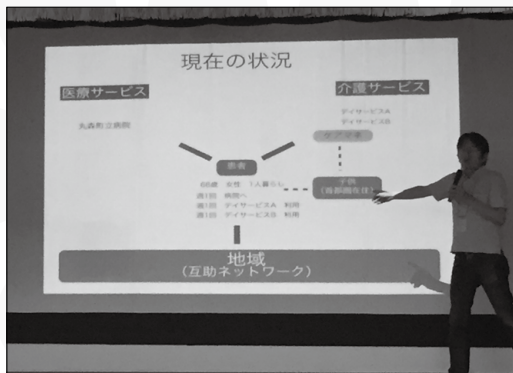
中間発表

中間発表は寸劇スタイル。紙で作自のナース帽を作成したり、きわどいナレーションがあったりと場内爆笑の渦! 皆さんこのサービスがあることでどう生活が変わるのかに主眼を置いた寸劇となっていました(写真4)。

◆写真4 紙で作ったナース帽で寸劇



◆写真5 チーム丸丸



そして成果発表へ

それぞれのチームのテーマと発表内容を紹介します。成果発表にはなんと丸森町長 保科郷雄氏もいらっしゃり、審査に加わっていただきました。

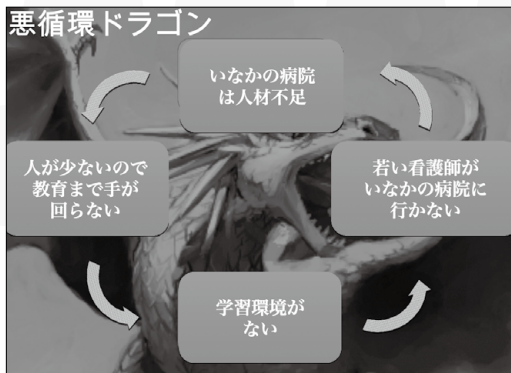
1:「チーム丸丸」

「人不足で往診が満足にできない」「人不足で介護サービスが満足にできない」「関係者間での情報の共有が満足にされていない」という問題点を解決するための地域の互助ネットワーク「地域丸丸システム」というアイデア(写真5)。愛称は「丸ちゃん」だそうです。関係者のネットワークをつなぎ、より良い介護、そして予防医療につなげていき、効率化を進めることで専門性を120%活かせる職場を作ります。これを自治体、つまり丸森町に買ってもらうことで丸森での医療従事者・介護従事者を募集する際のインセンティブにしようというもの。審査員の皆さんが興味を持っていました。

2:「ナース&ドラゴンズ」

「看護師のスキルは時代によって変わるため常にアップデートが必要。しかし、なかなかその機会がない」「看護師は2~3年で職場を移ることが普通」これらの問題を解決するために、「研修を受けることがポイントとなり、このポイントを採用元である病院が閲覧できるようにすることで就職にもつながる」という、ゲーム感覚で看護師のスキルアップと

◆写真6 ナース&ドラゴンズ



転職支援をするアプリ(写真6)。タイトルがそもそも某ゲームのパロディですね。転職時以外でもクイズアプリ形式で看護師スキルに関する問題が出題されるなど、ゲーム感覚でのスキルアップを主眼にしたアイデアでした。

3:「ナース&イーグルス」

「ナース&ドラゴンズ」のパロディをチーム名にしてしまったチームです。とはいえ、アイデアの方向性はまったく異なり、「丸森町でのナース不足」にフォーカスしたものだ。「大学病院から新人ナースを半年間派遣し、看護師としての成長をはかる」「病院内に24時間対応の訪問看護ステーションを作る」といった提案がなされていました(写真7)。

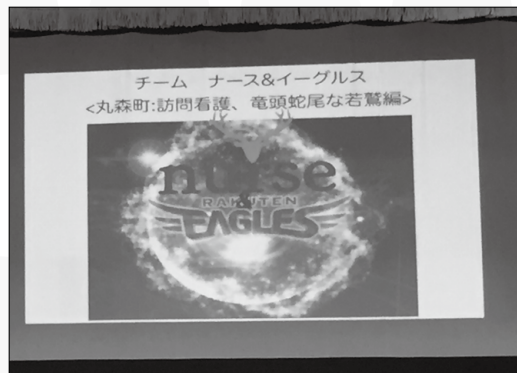
4:「かぞくニコニコカウンセリング」

認知症介護における「介護疲れ」、つまり介護される本人以外に、介護する周辺の人たちのケアが必要であることに着目したアイデアです。心理士を組織化し、介護にあたる家族のカウンセリングを行うというもの(写真8)。



上記4つのアイデアを発表して「ヘルスケア・ハッカソン in 宮城県丸森町」は終了となりました。厳正なる審査の結果、優勝したのは「チーム丸丸」。保科丸森町長からねぎらいのコメントもいただきました(写真9)。

◆写真7 ナース&イーグルス



最後に

実は今回のこのイベント、今までこの連載でも何度が取り上げている「渚の妖精ぎばさちゃん」がきっかけで生まれたもののなのです。キャラサミというイベントでハッカソン生まれのぎばさちゃんを筆者が紹介したところ、今回スタッフをしてくださった日本うんこ学会の石井医師と木野瀬氏に声をかけられ、そこで話が盛り上がり、田中医師との出会いもあって今回のイベントにつながっています。ハッカソン生まれのぎばさちゃんからつながって、今度は医療ハッカソンへつながる。人のつながりは面白いですね。

ぎばさちゃんは萌えキャラグランプリに参戦中。毎日投票してくださいね！

<http://bit.ly/moegiba>



◆写真8 かぞくニコニコカウンセリング



◆写真9 丸森町長 保科氏

